

Well-beingアンケート 2022年度結果

2023/02/28

 伊藤超短波株式会社

CHO室

回答集計

【実施日】

- 2022年07月11日～29日

【回答率】

- 対象者：325名
- 回答数：**310名**
- 回答率：**95.38%(小数点第三位切り捨て)**

【人数構成(回答者)】

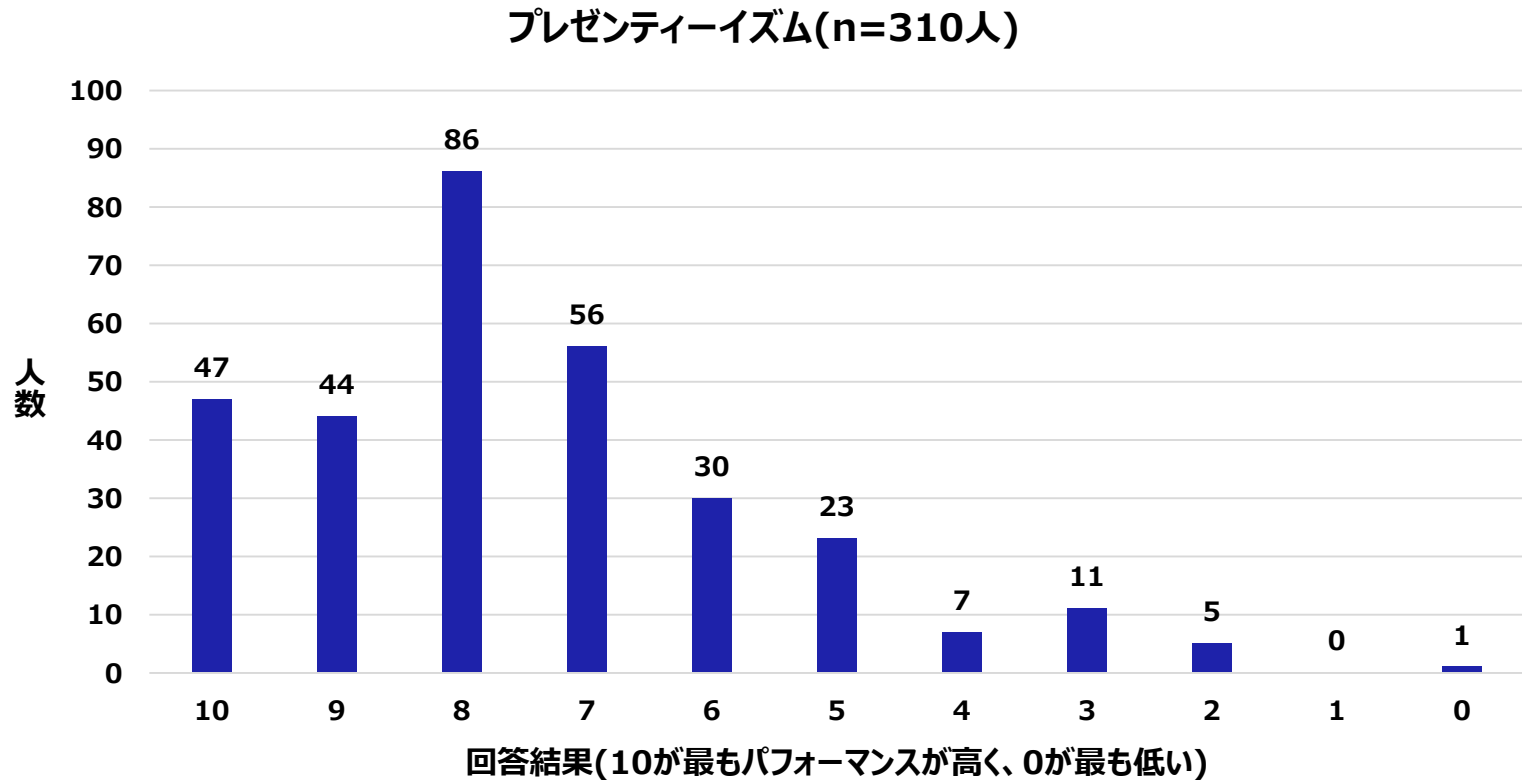
- 男性：218名
70.32%(小数点第三位切り捨て)
- 女性：92名
29.67%(小数点第三位切り捨て)

【年齢構成】

- 年齢：20代_46名(内訳 男性：31名 女性：15名)
30代_90名(内訳 男性：65名 女性：25名)
40代_97名(内訳 男性：68名 女性：29名)
50代_62名(内訳 男性：41名 女性：21名)
60代_15名(内訳 男性：13名 女性：2名)

プレゼンティーイズム①

- プレゼンティーイズムは企業の生産性を測る指標の1つです
「何らかの疾病や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力や生産性が低下している状態」を指します
- 【計測方法】東大1項目版
- 【設問内容】病気や怪我、精神的不調がない時に発揮出来る仕事の出来を「10」として、過去半年間の自身の仕事を評価して下さい(0~10の11段階)
- 【結果】下記グラフを参照



プレゼンティーイズム②

【プレゼンティーイズムの算出方法】

① 計算式：実数値 ÷ 最大理論値

② 実数値

前頁のグラフを基に、「回答数値×人数」を算出し、全ての値を合計した数値を実数値とする

$$(10 \times 47) + (9 \times 44) + (8 \times 86) + (7 \times 56) + (6 \times 30) + (5 \times 23) + (4 \times 7) + (3 \times 11) + (2 \times 5) + (1 \times 0) + (0 \times 1) = 2312$$

③ 最大理論値

回答者全員が「10」と回答した場合の数値を最大理論値とする

$$(10 \times 310) = 3100$$

④ ①の式に各数値を当て嵌めて計算すると

$$2312 \div 3100 = 0.74580\dots$$

となる為、**74.58%**(小数点第三位切り捨て)がプレゼンティーイズムのスコアとなる

※最大は100%とする

(100%の場合、回答した従業員全員が最大のパフォーマンスを発揮出来ている状態を指す)

プレゼンティーイズムスコア	74.58% (1.75%上昇)
前回計測値	72.83% (2021/12/24)

※前回計測値も同様の計算方法で算出

ワーク・エンゲージメント①

- ワーク・エンゲージメントは仕事に関連するポジティブで充実した心理状態として
 - ★活力：「仕事から活力を得ていきいきとしている」
 - ★熱意：「仕事に誇りとやりがいを感じている」
 - ★没頭：「仕事に熱心に取り組んでいる」の3つが揃った状態を指し、労働者にとって「働きがい」のある状態と定義されます
- **【計測方法】** UWES(Utrecht Work Engagement Scale)尺度9項目版
- **【設問内容】** 下記の9つの設問に対し0～6の数値で回答

- ①**活力 1**：仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる
- ②**活力 2**：職場では、元気が出て精力的になるように感じる
- ③**熱意 1**：仕事に熱心である
- ④**熱意 2**：仕事は私に活力を与えてくれる
- ⑤**活力 3**：朝に目が覚めると「さあ仕事へ行こう」という気持ちになる
- ⑥**没頭 1**：仕事に没頭している時、幸せだと感じる
- ⑦**熱意 3**：自分の仕事に誇りを感じる
- ⑧**没頭 2**：私は仕事にのめり込んでいる
- ⑨**没頭 3**：仕事をしていると、つい夢中になってしまう

《選択肢》

- 「6：いつも感じる(毎日)」
- 「5：とてもよく感じる(1週間に数回)」
- 「4：よく感じる(1週間に1回)」
- 「3：時々感じる(1ヶ月に数回)」
- 「2：全くそう思わない(1ヶ月に1回以下)」
- 「1：ほとんど感じない(1年に数回以下)」
- 「0：全くない」

- **【結果】** 次頁を参照

ワーク・エンゲージメント②

【ワーク・エンゲージメントの算出方法】

① 活力・熱意・没頭

各項目に対する3つの設問の回答数値(0が最小で6が最大)の合計の平均値を算出

活力：合計値(2943)÷回答数(310×3)=**3.16**(小数点第三位切り捨て)

熱意：合計値(3443)÷回答数(310×3)=**3.70**(小数点第三位切り捨て)

没頭：合計値(3104)÷回答数(310×3)=**3.33**(小数点第三位切り捨て)

② 総合

活力・熱意・没頭の合計値の合計を回答数の合計で割って算出

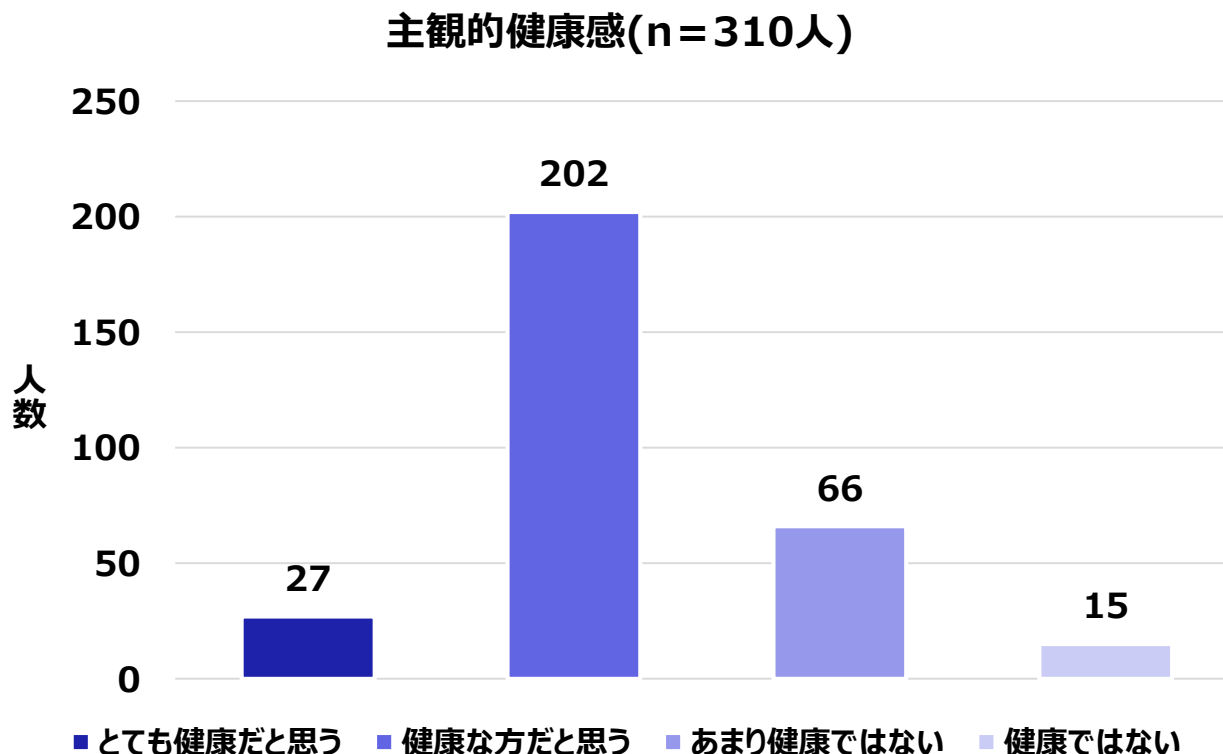
(2943 + 3443 + 3104) ÷ (930 × 3) = **3.40**(小数点第三位切り捨て)

n=310人	活力	熱意	没頭	総合
全体	3.16	3.70	3.33	3.40
男性	3.26	3.80	3.46	3.51
女性	2.93	3.46	3.03	3.14
20代	3.06	3.57	3.29	3.31
30代	3.08	3.65	3.21	3.31
40代	2.96	3.62	3.21	3.27
50代	3.57	3.92	3.70	3.73
60代	3.48	3.97	3.44	3.63

※「男性」「女性」「年代別」も同様の計算方法で算出

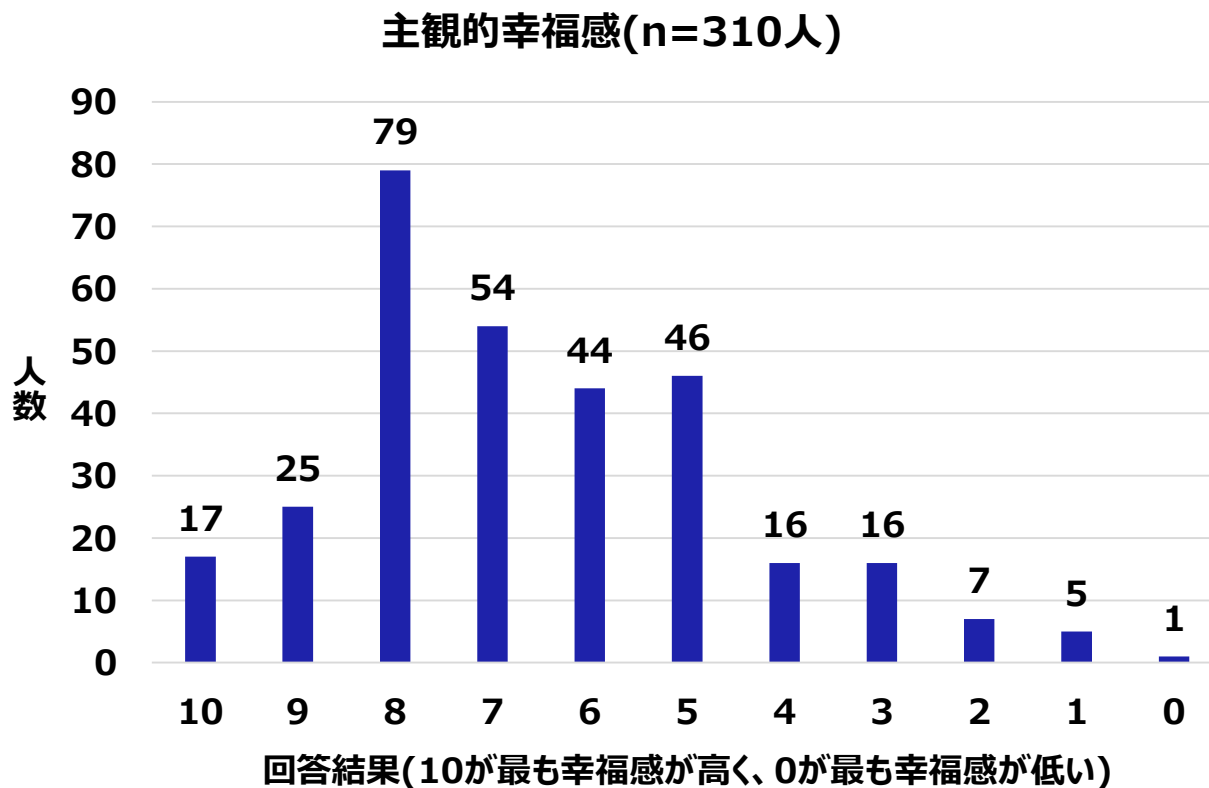
主観的健康感

- 主観的健康感は医学的な健康状態ではなく、自らの健康状態を主観的に評価する指標であり、死亡率や有病率等の客観的指標では表せない全体的な健康状態を捉える健康指標です
- 【計測方法】伊藤超短波オリジナル
- 【設問内容】あなたは普段、健康だと感じていますか？
上記設問に対し「とても健康だと思う」「健康な方だと思う」「あまり健康ではない」「健康ではない」の4つの選択肢から1つを回答
- 【結果】下記グラフを参照



主観的幸福感

- 主観的健康感とは感情状態を含み、家族や仕事など特定の領域に対する満足や人生全般に対する満足を含む広範な概念です
- 【計測方式】伊藤超短波オリジナル
- 【設問内容】現在、あなたはどの程度幸せですか？「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になるとお思いますか？(0～10の11段階評価)
- 【結果】下記グラフを参照



ヘルスリテラシー①

- ヘルスリテラシーとは健康面での適切な意思決定に必要な、基本的健康情報やサービスを調べ、得、理解し、効果的に利用する個人的能力の程度を意味します
- **【計測方式】** CCHL(Communicative and Critical Health Literacy)尺度
- **【設問内容】**あなたは、もし必要になったら、病気や健康に関連した情報を自分自身で探したり使用したりすることが出来ると思いますか？下記の5つの設問に対し1～5の数値で回答

- ①**情報収集**：新聞・本・テレビ・インターネットなど、色々な情報源から情報を集められる
- ②**情報の選択**：たくさんある情報の中から、自分の求める情報を選び出せる
- ③**情報の理解・伝達**：情報を理解し、人に伝えることが出来る
- ④**情報の信頼性判断**：情報がどの程度信頼出来るかを判断出来る
- ⑤**情報に基づく計画・行動**：情報をもとに健康改善の為の計画や行動を決めることが出来る

《選択肢》

- 「5：とてもそう思う」
- 「4：まあそう思う」
- 「3：どちらでもない」
- 「2：あまりそう思わない」
- 「1：全くそう思わない」

- **【結果】**次頁を参照

ヘルスリテラシー②

【ヘルスリテラシーの算出方法】

① 「情報収集」「情報の選択」「情報の理解・伝達」「情報の信頼性判断」「情報に基づく計画・行動」

各設問の回答の数字を合計し、回答数で割って平均値を算出

情報収集： 合計値(1302)÷回答数(310)=4.20(小数点第三位切り捨て)

情報の選択： 合計値(1231)÷回答数(310)=3.97(小数点第三位切り捨て)

情報の理解・伝達： 合計値(1149)÷回答数(310)=3.70(小数点第三位切り捨て)

情報の信頼性判断： 合計値(1132)÷回答数(310)=3.65(小数点第三位切り捨て)

情報に基づく計画・行動： 合計値(1140)÷回答数(310)=3.67(小数点第三位切り捨て)

CCHL尺度(5項目)	平均値
情報収集	4.20
情報の選択	3.97
情報の理解・伝達	3.70
情報の信頼性判断	3.65
情報に基づく計画・行動	3.67

※各項目の最大値は5、最小値は1

② ヘルスリテラシーのスコア

5つの項目の平均値を合計した数値をヘルスリテラシースコアとして算出

$4.2 + 3.97 + 3.7 + 3.65 + 3.67 = 19.19$

※最大値は25、最小値は5